

第2回 真室川町巨木の森フォトコンテスト 入賞作品

平成25年度中に作品を募集した、第2回真室川町巨木の森フォトコンテストの入賞作品が3月26日の審査会において決定しました。全国から応募いただいた49作品の中から、審査委員長として、優秀作品の選定にあたった菅原富喜氏（山形県写真連盟顧問・新庄市在住）の寸評と共に入賞13作品を紹介します。これらの作品は、今後、町の刊行物やホームページ等に使用することで、町のPRに活用させていただきます。



最優秀賞

「二休み」 高橋浩幸（真室川町）

ブナとモデル、どちらが年上でしょうか？巨木と佇むモデルの表情が実にすばらしい。安定感のある秀作。真室川の森の豊かさもうまく表現されています。

文化部門 優秀賞



「笑顔で」 阿部光伸（山形市）
豪快な作品。先祖伝来の里手とのこと。逞しい男性の描写が面白いですね。表情の捉え方も最高。収穫の喜びが素直に伝わる秀作です。



自然部門 優秀賞

「剣の舞」 熊澤禎男（鶴岡市）
伝統の八敷代番楽の暖簾が賑やかで、モデルのフレカに動きの速さが表現されています。囃子の音が聞こえてくるような臨場感のある良い作品です。



「盛秋土倉の滝」 松澤純一（真室川町）
色彩描写正確、遅いシャッターで滝の水の流れを巧く表現していますね。町のビューポイントをPRできる秀作です。



「厳冬・八敷代鉄橋」 橋本良夫（茨城県ひたちなか市）
モノクロで雪国の質感、魅力がよく表現されています。静と動の対比もよく、撮り慣れた方の作品でしょう。モノクロ写真の傑作ですね。

自然部門 特別賞



「二輪草群生地」 橋本良夫（茨城県ひたちなか市）
トリカブトとよく間違われる二輪草、綺麗な白花が、食べられる二輪草の証です。夢のような情景をよく収めてくれました。魅力的な自然が表現された秀作です。



「孤高の仏陀樹」 鷹羽 森（真室川町）
荒々しい木肌に自然の厳しさを感じ取れます。豪雪地帯でよくみられる巨木の逞しい姿が表現された良い作品です。



「初雪の日」 高橋浩幸（真室川町）
初雪ともみじ、綺麗な絵柄言うこと無し。ただ、下部の黒い部分が気になるります。写す際にはフレーミングも工夫しましょう。



「孤高の舞台」 庄司信一（真室川町）
晴天に降雪、不思議な場面です。春を待つ巨木が舞台で表現する役者のようにも見えます。新雪が舞い上がる一瞬をよくとらえました。これが写真の醍醐味ですね。

文化部門 特別賞



「番楽（八敷代）」 木田満智子（真室川町）
舞台の背景もよく、動きのある良い作品です。ただ、シャッターチャンスはもう少しあったように思います。惜しい作品です。



「釜淵番楽」 高山真一（千葉県千葉市）
囃子手と舞手の息が合った獅子舞なのでしょう。ただもう少し周囲も見たいところです。フレーミングを工夫してみましょう。



「いも煮会」 橋本良夫（茨城県ひたちなか市）
夏祭りの雰囲気が伝わる楽しい作品ですが惜しい作品です。写真撮影時は一歩前に出て、写される人の表情を入れてみて下さい。



「番楽（釜淵）」 木田満智子（真室川町）
子どもながらに伝統を引き継こうとする静かな決心のよい作品です。巧く撮れていますよ。

第3回 真室川まるごとフォトコンテスト 作品募集！

平成26年度は、コンテストの名称をリニューアルして、幅広いテーマからの作品を募集します。ふるってご応募ください。

◎募集テーマ

- ◆自然部門：四季の風景（山岳・里山・田畑・河川・湿原・高坂ダム・野々村ため池・秋山牧場）・動植物・自然現象・街並み・巨木やその周辺の自然など、真室川の豊かな自然や土地の恵みが感じられる作品
- ◆交流部門：伝統芸能・食文化・町のイベント（梅まつり・真室川まつり・花火大会・収穫祭・釣り・番楽・スキー）・公共施設に集う人々・元気な子供たち・人々の暮らしぶりなど、真室川の暮らしと文化が感じられる作品

◎募集期限：平成27年2月27日（金）必着

※応募方法や応募規定など詳しくはお問い合わせください。

●お問い合わせ先……第3回真室川まるごとフォトコンテスト事務局
役場産業課 6次産業化・商工観光担当内 ☎0233-62-2111（内線269）